

令和6年度

古文書解読中級講座

今回のテーマは「青森開港と九浦制度の展開・衰退」です。

令和7（2025）年は青森が開港してから400年になるといわれ、青森市で各種イベントが実施されます。それとからめて、青森開港と町づくりの展開や、青森・鱒ヶ沢を頂点とした「九浦（くうら）制度」の展開と衰退について、「弘前藩庁日記」等の藩政資料を中心に読み解いていきます。青森に港町ができた理由や、「九浦制度」がどのような制度だったのか、「九浦制度」が衰退・崩壊した要因は何か、などに興味がある方はぜひご参加ください。

◆日時 令和7年 1月25日(土)・2月1日(土)・2月8日(土)・2月22日(土)

時間はいずれも、午後2時から4時まで

◆会場 弘前図書館 2階 視聴覚室

◆講師 蔦谷 大輔さん（弘前大学国史研究会会員）

◆対象 高校生以上の市民（古文書の基礎知識と解読の初歩を学んだ人）

◆募集人員 30名（先着順） ※定員になりしだい締め切り

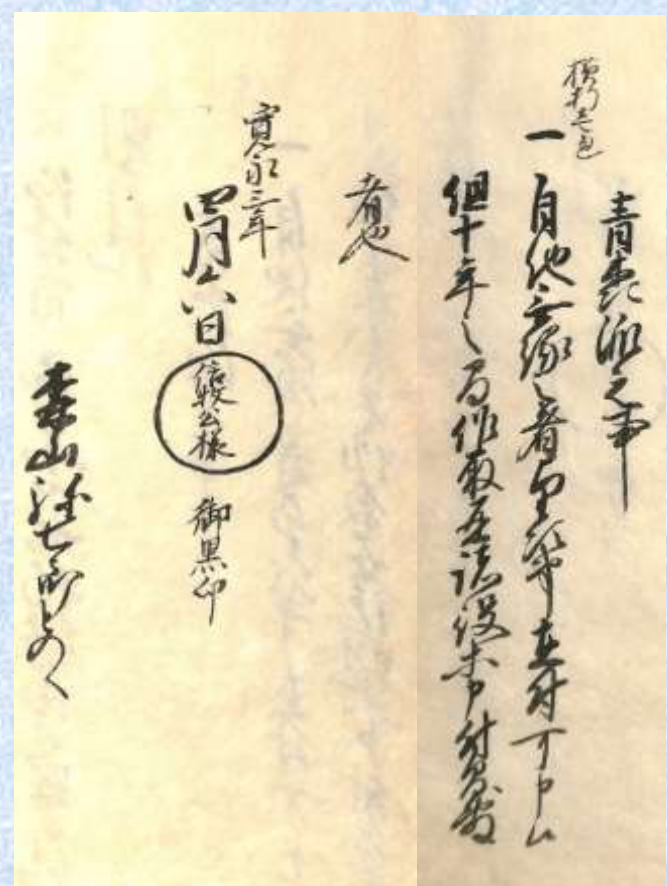
募集期間：令和6年12月15日（日）～令和7年1月24日（金）

◆参加料 700円（テキスト代として）

◆申し込み方法 電話かファクスまたはEメール（住所・氏名〈ふりがな〉・電話番号を記入）で、令和7年1月24日までに申し込みを。

◆問合せ先 弘前市教育委員会生涯学習課
図書館・郷土文学館運営推進室

（☎32-3794、Fax36-8360、
メール：tosho@city.hirosaki.lg.jp）



弘前藩庁日記（国日記） 元禄十年四月二十五日条「より 青森派（はたち）之事